

土木工事標準積算基準書

(河川・道路編)

第 III 編	河川
第 IV 編	道路
第 V 編	公園

令和 6 年 8 月
(令和6年11月一部改定)
広島県

5. 機種の選定等

5-1 機種の選定

ポストテンション桁製作工に、使用する機械・規格は次表を標準とする。

表 5.1 機種の選定 (1 工事当り)

作業種別	名称	規格	単位	数量	供用日数	損料額	
						規格	円/供用日
緊張工	緊張ジャッキ・ポンプ	各種	組	2	A	1300kN (130t) 型	6,700
						2200kN (225t) 型	10,400
						3200kN (320t) 型	12,200
門型クレーン工	門型クレーン 電動ホイスト	[3.0t 吊電動 ホイスト] 3.0t 吊用	基 台	1	A		11,600
				1	A		
主桁製作用型枠	鋼製型枠	ポストテンション桁用	m ² ・日	必要量	A	1 組当りの型枠面積を計上	504

→ 7,380

(注) 1. A=供用日数

$$=0.19 \times V \times \alpha + 24$$

V : コンクリート設計量 (m³)

α : 供用日補正係数

供用日補正係数は、下記による。

	支間長 L (m)		
	L ≤ 35	35 < L ≤ 40	40 < L ≤ 45
α	1.0	0.73	0.60

- 鋼製型枠面積の算出にあたっては、側部及び端部面積のみとし、定着部面積は考慮しないものとする。なお、底型枠は主桁製作台を利用する。
- 鋼製型枠は 1 組を標準とし必要数量を計上する。

5-2 雑機械費

雑機械費は、ポストテンション桁製作工に必要な表 5.1 の機械器具を除く雑機械（グラウトポンプ、グラウト流量計、水槽、空気圧縮機、真空ポンプ等）の損料等の費用であり、表 5.1 の機械器具損料の合計額に次表の率を乗じた金額を上限として計上する。

表 5.2 雑機械費率 (%)

雑機械費率	83
-------	----